

『 盛 夏 便 り 』

後志教育研修センター
所長 長谷川 誠



〈指導監による公開講義〉

今年度の研修講座が7月の音楽科講座を皮切りに、集合研修として、午後開催で開催することができました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の関係で5月・6月の研修講座は中止や延期、また集約開催（2日日程を1日日程に）、そして資料配付による代替など、様々な形としての開催を余儀なくされました。その間、講師の方々には幾度となく研修内容のやり取りをして頂き、本当に感謝申し上げます。

当センターとしては感染拡大防止を最優先に考えて、慎重に対応し、状況を注視しつつ、可能な限り研修講座の開講に向けて方策を探っていくというスタンスで臨んでまいりました。現時点で音楽科、学校保健、学校経営Ⅰ（校長）の3つの講座が終了しています。

センターに入る前には、①マスクの着用と手指の消毒をしてもらい、②入り口付近で検温の協力をお願いしています。③会場は定員の4割弱の人数制限しており、④座席を離し、3密にならないように配慮しています。⑤換気を1時間に1回の割合で行い、⑥利用者名簿記入への協力と⑦使用したスリッパは別籠に入れてもらい、⑧後でセンター職員で除菌しています。



〈杉本店長によるおもちゃの講義〉

講座後のアンケートには、嬉しい記述がたくさんありました。

- 「コロナ禍でもこのような形で研修講座を開いてくださったことに感謝申し上げます。細かく対策をとられていたので、安心して受けることができました」
- 「短い時間でしたが、内容がギュッと詰まった、とても濃い学びの時間でした。久しぶりに養教の皆さんと会い、話して、元気とやる気をもらい、また明日から頑張れそうです」
- 「オンデマンド視聴やリモート（オンライン）研修ではなく、生の講義が行われたことに感謝したいと思います」
- 「検温、ソーシャルディスタンス、換気などの対策が徹底されており、半日でも中止にせず開催して頂いたおかげで、半年ぶりで元教頭仲間と会うことができました」
- 「直接、会場でお話を聞くことができ、オンライン研修とは違う充実感がありました」
- 「半日日程が講座の今後のスタンダードになるのではと思いました」

また、学校保健研修講座は町村1名の人数制限をしての開催となり、残念ながら受講ができなかった先生方に当日の資料を送付しました。すると、ご丁寧に感謝のメッセージを届けてくれた先生がおりました。担当した講師やセンター職員はとても嬉しい気持ちになりました。



〈フェイスシールド着用してのリコーダー演奏〉

最後に、センターの廊下にはたくさんの図書等をおいています。先日、町の図書館を訪れた方が、すすっとセンター事務室付近に来て、何かしら本か資料を見ているようなのです。「どうされましたか」と声をかけると「先生ではないのですが、この教材借りられますか」と言うのです。「どうぞ、どうぞ」ということで、貸し出し名簿に名前を書き、『英語絵ずかん（しゃべるペン付き）』を借りていきました。数日後、「とても楽しく勉強できました。いいですね、これ!」と感想を述べられていきました。凄い人がいるものだなとつくづく感心させられた日でした。学び続ける姿を見た嬉しい一日となりました。